

団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	十禅寺山の自然を守る会		
代表者	味野 進	担当者	三宅 節子
所在地	〒 岡山県玉野市田井 5-27-32 TEL: 0863-31-2578 FAX: 0863-31-9110 E-mail:		
設立の経緯 ／沿革	平成6年突然瀬戸内海国立公園の山林に資材置場を作る業者があらわれ、 守る会をつくる、その為あきらめる。その後墓地造成の申請を玉野市に提出 墓地はつくるが軟弱盤に墓地はいらないと反対して買う人もいなく山林に戻 っている。反対ポスター3メートルを二枚つくる。		
団体の目的 ／事業概要	土砂災害危険箇所の土地開発反対、自然破壊、温暖化について。		
活動・事業実績 (企業の場合は 環境に関する 実績を記入)	◆ 瀬戸内海国立公園(玉野市田井)の中の景勝地で、弥生時代から人が住み着いた歴史を持ち、山上仏教のメッカとして10の寺があったといわれて、十禅師(十禅寺)の地名として残っており、私(味野)は十禅寺を十国景といっております。絵を通して、この自然の魅力あるところを紹介し、また会として土地開発計画などに対する反対運動、申し入れ等を行なっている。 ◆ 環境川柳を百数十句、その内六句新聞に時事川柳として入選する。 ◆ 十禅寺山風景と周辺展を倉敷市立美術館で ◆ 太陽光とクリーンエネルギーを油彩で数十点描いている。 ◆ ゴミ財政と、地球温暖化を無くするには可燃ゴミを削減する為の有料化。この様な訴えにも拘らず市議会議員に反対されました。(岡山県では倉敷市と玉野市だけが無料です)		
ホームページ	別紙あり		
設立年月	平成 6 年 / 月 *認証年月日(法人団体のみ) 年 月 日		
資本金/基本財産 (企業・財団)	円	活動事業費/ 売上高(H20)	円
組 織	スタッフ/職員数 名 (内 専従 / 名) 個人会員 名 法人会員 名 その他会員(賛助会員等) 数 名		

政策のテーマ 文化芸術を通じて環境教育

■政策の分野

- ・ 環境パートナーシップ
- ・ 持続的可能な環境学習

■政策の手段

- ・ 環境問題の文化芸術
- ・ 環境教育

団体名： 十禅山の自然を守る会
担当者名： 味野 進 三宅 節子

■キーワード ● 環境教育 ● 先送りしない ● 環境税が必要 ● 自分は何をしているか

① 政策の目的

- 文化芸術を通じて環境教育
- 市民的にも国をあげて環境教育の認識を持つ事が必要である。

② 背景および現状の問題点

- 環境問題は、テレビ新聞等で知っていても温暖かは他人に任せるリサイクルです。そこで絵を通じて感性を与えたいのです。
- 自宅の家にCO²を出したい人はいませんが、外に出ると知らない勝手な人に成っているのです。

③ 政策の概要

- 新作油彩について
- 現状は学校の先生、公の人、議員、画家、主人に自費でカラーコピーにして配布している、特に政治家は温暖化については政治的に意識感覚を持って頂きたい。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

- 地球規模の作品、百点を油彩で描いています。会として全国にどんな方法でも良いから発信したい。宜しくお願いします。 F A X : 0 8 6 3 - 3 1 - 9 1 1 0

- 美術館、文化センターで今年中に環境展の予定。

⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

- 環境税を取る事により税を使ってエコ（ビジネス）にも役に立ち、早くもっと力を入れて欲しい。
- 「2020年までに1990年比25%削減と言っているが」現在はプラス9%になっているので実際は実に34%削減の取組が必要です。これからでも遅くありません。それには、環境教育しか有りません。

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

- 文化芸術によって分かりやすく環境文化の内容を高める事により、環境に関して感受性と使命感を持つ様になる。
- 常に幅広く環境的意識感覚を持つ。

⑦ その他・特記事項

あやかり

- ピカソのゲルニカを表現した様に肖りたい。油彩作品を抽象画でグローバル的に描いているので世界に発信出来れば有難いです。
- カラーコピを数点ですが観てください。

環境画家 世界芸術家辞典掲載 味野 進

世界芸術家辞典 掲載

味野進（みのすすむ）昭和12年～（1937～）洋画家。岡山県倉敷市生まれ。岡山県玉野市在住。1958年二科展初出品、日美展、日本の自然を描く展出品、個展。現在は地球温暖化のため、環境画家としてグローバルレイション（地球規模）の油彩画50数点を発表する。様式は社会派的アヴァンギャルド、自然を描くときは自由奔放であり、到達点は天衣無縫に託す。（前衛）

終わりに

- 私の経験では豊島、直島問題があります。それは豊島産廃物から一日に出るガスの量は東京ドームと香川県庁言っていました。
- 漁船の廃棄物（FRP）についても玉野で野焼きを現場で止めた（町内を挙げて）事など数えれば切りがありません。こんな事では行政任せの地球温暖化は無くなりません。これが忌憚の無い話です。環境画家 味野 進